

【別紙】 「神賀詞奏上」記事

〔出雲臣果安〕

『続日本紀』

靈龜二年(七二六)二月十日

丁巳、出雲國々造外正七位上出雲臣果安、齋竟奏_二神賀事_一。神祇大副中臣朝臣人足、以_二其詞_一奏聞。是日、百官齋焉。自_二果安_一到_二祝部_一二百一十餘人、進_レ位賜_レ祿各有_レ差。

〔出雲臣広嶋〕

『続日本紀』

神龜元年(七二四)正月二十七日

戊子、出雲国造外從七位下出雲臣広嶋奏_二神賀辭_一。

神龜元年(七二四)正月二十八日

己丑、広嶋及_レ祝・神部等、授_レ位賜_レ祿各有_レ差。

神龜三年(七二六)二月二日

辛亥、出雲国造從六位上出雲臣広嶋齋事畢、獻_二神社劍鏡并白馬・鶴等_一。広嶋并祝_二一人並進_二位_二階_一。賜_二広嶋繩廿疋、綿五十屯、布六十端。自餘_二祝部_一一百九十四人祿_一各有_レ差。

〔出雲臣弟山〕

『続日本紀』

天平勝宝二年(七五〇)二月四日

二月癸亥、天皇御_二大安殿_一。出雲国造外正六位上出雲臣弟山奏_二神齋賀事_一。授_二弟山外從五位下_一。自餘_二祝部_一叙_レ位有_レ差。並賜_二純綿_一、亦各有_レ差。

天平勝宝三年(七五一)二月二十二日

乙亥。出雲国造出雲臣弟山奏_二神賀詞_一。進_レ位賜_レ物。

〔出雲臣益方〕

『続日本紀』

神護景雲元年(七六七)二月十四日

甲午、幸_二東院_一。出雲国造外從六位下出雲臣益方奏_二神賀事_一。仍授_二益方外從五位下_一。自餘_二祝部等_一、叙_レ位賜_レ物有_レ差。

神護景雲二年(七六八)二月五日

庚辰、出雲國々造外從五位下出雲臣益方奏_二神賀事_一。授_二外從五位上_一。賜_二祝部男女百五十九人爵各一級_一。祿亦有_レ差。

〔出雲臣國成〕

『続日本紀』

延曆四年(七八五)二月十八日

癸未、出雲國々造外正八位上出雲臣國成等奏_二神吉事_一。其儀如_レ常。授_二國成外從五位下_一。自外祝等、進_レ階各有_レ差。

延曆五年(七八六)二月九日

二月己巳、出雲國國造出雲臣國成奏_二神吉事_一。其儀如_レ常。賜_二國成及祝部物_一、各有_レ差。

〔出雲臣人長〕

『類聚国史』

延曆十四年(七九五)二月二十六日

甲子、出雲國國造外正六位上出雲臣人長特授_二外從五位下_一。以下緣_二遷都_一奏_中神賀事_上也、

〔人名無し〕

『類聚国史』

延曆二十年(八〇一)閏正月十五日

戊寅、出雲國々造奏_二神賀事_一。

〔出雲臣旅人〕

『日本後紀』

弘仁二年(八一)三月二十七日

辛酉、出雲國造外從七位下出雲臣旅人授_二外從五位下_一。祿_二神賀事_一也。

弘仁三年(八一)三月十五日

癸酉、御_二大極殿_一、出雲國造外從五位下出雲臣旅人奏_二神賀辭_一、并有_二獻物_一、賜_レ祿如_レ常、

〔出雲臣豊持〕

『類聚国史』

天長七年(八三〇)四月二日

乙巳、皇帝御_二大極殿_一、覽_二出雲國々造出雲臣豊持所持_レ獻五種神寶、兼所_レ出雜物_一、還_レ宮、授_二豊持從六位下_一、

『続日本後紀』

天長十年(八三五)四月二十五日

壬午、出雲國司率_二国造出雲豊持等_一奏_二神壽_一、并獻_二白馬一疋、生鷓一翼、高机四前、倉代物五十荷_一、天皇御_二大極殿_一、受_二其神壽_一、授_二國造豊持外從五位下_一、